

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日 更新

事務事業名		合志市地域公共交通協議会運営事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	政策部	課長名	澤田 勝矢
	施策	4	公共交通の充実				所属課	企画課	担当者名	吉田 健悟
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上				所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款2	項1	目11	事業連番11463	法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法	成果優先度評価結果	①
									コスト削減優先度評価結果	②
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 20 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成20年度に設置した合志市地域公共交通協議会(以下、協議会)を管理・運営する事業である。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会、道路運送法に基づく地域公共交通協議会および地域公共交通確保維持改善事業のネットワーク計画の実施に関する協議・調整役としての3つの目的を担っている。協議会の委員構成は、法律で定められており、市民代表、公共交通事業者、運輸支局、学識経験者等の計29人で運営している。
【業務の流れ】	協議会事務局としての機能を有し、協議会の開催や関係機関との調整を行なう。
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成25年度実施の優先度評価会議において、この事業を11465合志市地域公共交通計画実施事業に統合することとなった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
協議会を3回、作業部会を4回開催		協議会を5回、作業部会を5回予定している。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア協議会開催回数	回	協議会開催回数を前年度の3回から5回に、作業部会を4回から5回に増やしたため、報酬、費用弁償の増	
→イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
合志市地域公共交通協議会		→ア組織数	件
		→イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
円滑に運営できる		→ア円滑に開催できなかった会議の割合	%
		→イ	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
協議会の円滑な運営を目的としているため、円滑な協議会開催ができなかった割合とした。			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①活動指標	ア回		4	4	3	3	5	4	3	3
	イ									
②対象指標	ア件		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
③成果指標	ア%		0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	506	449	549	406	875	875	875
	人件 費	(A)事業費計	千円	506	449	549	406	875	875	875
		(A)のうち指定経費	千円	310	274	337	248	537	537	537
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	4	3	1	1	1
人件 費	延べ業務時間	時間	520	520	452	265	500	50	500	500
		(B)人件費計	千円	2,116	2,071	1,800	1,055	1,992	1,992	1,992
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,622	2,520	2,349	1,461	2,867	2,867	2,867

事務事業名	合志市地域公共交通協議会運営事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成27年度は協議会5回、作業部会5回を実施予定。円滑に協議会を開催することに努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 協議会の開催や運営を円滑に行うための事業であるので、向上余地はなく。なお、少人数での作業部会を開催し、さらに充実した議論や検討を行うことができた。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 協議会の開催については、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 協議会委員の報酬と費用弁償のみであり、切手代についてもメール送信可能な委員には郵送は行っていない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 協議会の開催に係る必要最小限度の人員（時間）である。また、法定協議会の運営であるため外部委託はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 地域公共交通活性化再生法および道路交通法に基づく法定協議会として、市全体の公共交通のあり方について検討や協議を行うため設置した組織であり、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域公共交通活性化再生法および道路交通法に基づく法定協議会であり、他団体では担えない。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

会議の開催に向けた一連の手続きについては、円滑に行うことができたと考えている。また、開催通知や資料の送付方法をメール送信したことにより、経費の節減も図ることができた。
今後も利用者代表による作業部会の活用により、議論を活発化させる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												